

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (3月11日~3月22日分)

IEEE、Bluetooth 互換の標準規格 「802.15.1」を採択

IEEE(米電気電子通信学会)は、Bluetooth 仕様 ver.1.1 と完全な互換性を持つ「PAN(Personal Area Network)」の標準規格として「IEEE802.15.1」を採択したと発表した。

Bluetooth 技術は、比較的短い距離の通信を低消費電力で行なうことを目的に米 3Com、Ericsson、Intel、Motorola、Nokia などの企業により設立された業界団体「Bluetooth SIG(Special Interest Group)」によって策定された規格。

携帯電話経由でノート PC からインターネットにアクセスしたり、通常のプリンタで PDA(携帯情報端末)からのデータを印刷したりといった用途を想定している。

IEEE802 標準委員会は無線ネットワーク用の各種仕様を策定しており、IEEE802.15 ワーキンググループでは PAN 規格を検討していた。

(3/22)

iTSCOM、下り最大 30Mbps のブ ロードバンドサービスは月額 5,200 円で 4 月 1 日から

イツ・コミュニケーションズは、ヘビーユーザー向けのブロードバンド体感コース「かっとびワイド」の受付を 2002 年 4 月 1 日より開始すると発表した。

通信速度は下り最大 30Mbps 上り最大 10Mbps、月額の利用料金は接続料・通信料込みで 5,200 円。これに別途モデム使用料 ¥700 が必要となる。また、グローバル IP アドレスの動的割り当ても提供される。

さらに、ファミリーパック(メールアドレスが最大 5 つまで登録、ホームページ 10MB まで開設が可能)やダイヤルメールサービス(外出先から電話回線を使って東京・横浜・川崎のアクセスポイント経由でイツコムメールサーバにダイヤルアップ接続が可能)

サービス)が標準で提供される。

サービス受付は 2002 年 4 月 1 日より開始し、同 4 月 15 日より横浜市青葉区・緑区・町田市の一部地域にてサービスを開始する。

「かっとびワイド」のサービスを提供するためにイツコムのネットワーク環境は光ファイバーケーブルと同軸ケーブルを組み合わせた HFC(Hybrid Fiber and Coaxial system)ネットワークに切り替えており、この進捗に合わせてサービス地域を順次拡大していく予定としている。

(3/21)

アップル、iPod に 10GB モデルを 追加

アップルは、ハードディスクを内蔵した携帯型デジタルオーディオプレーヤー「iPod」の第 2 弾モデルを発表した。発売日は 2002 年 3 月 23 日、メーカー希望小売価格は 62,800 円。

第 2 弾の iPod は、従来と同じステンレス製の小型筐体(61.8×102×19.9mm、185g)に倍容量の 1.8 インチ 10GB のハードディスクを内蔵しており、20 分間の音飛び防止用のメモリも搭載している。

同時にアドレス帳機能とイコライザ機能を追加するソフトウェアを発表した。

アドレス帳機能では、最高 1,000 件の名前と住所を含むアドレス帳をダウンロードし、音楽と一緒に保存ができるようになる。

イコライザ機能では R&B からクラシックまで、20 種類のプリセットのイコライザ設定が追加されている。

このソフトウェアは従来の iPod も利用できる、iPod アップデータ版としてアップルのホームページから無償でダウンロードできる。

さらに、ユーザーの注文に応じて、裏面のステンレスチールにレーザーで好きな文字を入れられるレーザーによるパーソナライズサービスも開始される。最高全角 13 文字を 2 行まで入れることができ、Apple Store にて 6,000 円で提供される。

(3/21)

三洋電機、携帯型 EMD プレーヤ ーに大容量モデルを追加

三洋電機は、携帯型 EMD プレーヤーの従来機種 SSP-PD10(愛称:DiPly)の内蔵フラッシュメモリ(64MB)を倍増、128MBの内蔵フラッシュメモリを採用した『SSP-PD20』を 2002 年 4 月 21 日より発売すると発表した。メーカー希望小売価格は 29,000 円(税別)。

圧縮フォーマットは MP3、WMA、AAC の 3 種類に対応、パソコン上でトランスコーディング処理をせずに各フォーマットの楽曲ファイルを送受信することができる。

著作権保護方式もマイクロソフトの「WDRM(Windows Media Rights Manager)」とリキッドオーディオの「SP3(Secure Portable Player Platform)」の両方に対応している。メモリカードによる増設はできない。

付属のニッケル水素充電電池を利用する場合、パソコンの USB 端子から供給される電源を利用して充電ができる「USB 充電機能」を搭載。充電時間は 3.5 時間で約 4 時間の連続再生が可能。なお、アルカリ乾電池(単 4 型)では約 6 時間の長時間連続再生が可能となっている。

また、スペシャライザー社のバーチャル低音増強システム、Vi.B.E.(バイブ、Virtual Bass Enhancement)を搭載。人間の耳に低音が強調されたと感じるような低音周波数を高調波を利用して音のパターンを設定する技術により、通常の軽量ヘッドホンの最低周波数特性より低い低音の再生がバーチャルに可能となっている。

色はシルバーのみ。アクセサリ感覚のデザインを採用し、胸のポケットに入れて持ち運べるだけでなく、ベルトクリップを標準装備。また、本体のベルトクリップ取り付け穴を利用して、キーホルダー感覚でカバン等にも付けることができるようになっている。

また三洋電機が運営している音楽配信サイト「MUSIC SANYO」では、2002 年 3 月より WMT 方式による有料音楽配信サービスを開始する。このサービスは音楽コンテンツのデジタル配信プラットフォームを提供する

オボートの Pulse One メディア・サービスを採用している。

(3/20)

米 Rayovac、短時間充電の充電電池技術を発表

米 Rayovac は、充電時間を 15 分以内にす
る充電電池を開発したと発表した。

これはニッケル水素充電電池に当社が特許出
願中の I-C3(In-Cell Charge Control)技術を
組み合わせたもの。

電池内の電圧センサーが充電中の化学反応
を監視するこの技術により、充電時間が短く
なるだけでなく、一般的なアルカリ電池の 4
倍長持ちする効果もある。

1,000 回以上の充電に耐えることができ、
デジタルカメラや MP3 プレーヤー、携帯電
話などに最適としている。

Rayovac では OEM 先との提携を検討して
おり、製品の発売は 2003 年後半予定となっ
ている。

(3/20)

So-net、東京電力の回線を利用した FTTH サービスを発表

ソニーコミュニケーションネットワーク
(サービス名称: So-net) は、加入者光ファ
イバをアクセスラインとした最大速度
100Mbps の『So-net 光』コースを新設、2002
年 5 月 7 日より申込受付を開始すると発表し
た。

サービスメニューは「ホームタイプ」と
「SOHO タイプ」の 2 種類を設定。アクセス
回線として、東京電力株式会社が提供する
ISP 向け光ファイバを利用する。

回線提供速度は上り下り共に最大
100Mbps。サービス料金は月額費用が基本料
金としてホームで 8,700 円、SOHO で 15,900
円。それぞれに回線終端装置使用料として
900 円が加わる。初期・登録工事は 29,000
円。

サービス提供条件として、持ち家もしくは
家主の承認を得ている借家の一戸建て、また
は集合住宅の 2 階までとなっている。条件に
合致しても現地調査の結果提供できない場合
もある。

サービス提供開始時期は 2002 年 5 月 7 日
から受付を開始。

サービス提供エリアはスタート時で目黒
区、大田区、世田谷区の一部。2002 年度中に
東京都 23 区、三鷹市、武蔵野市まで展開す
る予定となっている。

(3/19)

ソニーファイナンス、IC カードを利用したクレジットサービスを発表

ソニーファイナンスインターナショナル
は、独自にネットショッピング専用開発し
た、非接触 IC カードによる安心・簡単なク
レジットサービス「eLIO (エリオ)」を 2002
年 4 月 1 日よりサービス開始し、同時に eLIO
を搭載した自社クレジットカード「My Sony
Card (マイ・ソニー・カード)」の会員募集
を開始すると発表した。

非接触 IC カードにはソニーが開発した非
接触 IC 関連技術「FelIca」を採用、PC 用リー
ダ/ライタ「パソリ」に軽くセットするだけで、
簡単に支払手続きが完了する。券面上ではな
く IC チップ内のみ書きこまれている eLIO
独自のカード識別情報を用いるため、カード
番号が他人に盗まれるリスクが低いほか、番
号を手入力できないことから、他人に悪用さ
れるリスクが大幅に減少される。

支払手段にはネット専用クレジットサー
ビス「eLIO」、ネットおよびリアルでの少額決済
に最適なプリペイド型電子マネー・サービス
「Edy」、全世界 2200 万店で利用可能なク
レジットサービス「VISA (ビザ)」の 3 方式が提
供される。

また、国内初の試みとして、カード入会時
に希望に応じてカード会員の家族(対象 12
歳以上 18 歳未満)用に、電子マネー Edy 機
能が付いた子カード「Youth Pocket (ユース
ポケット)」を設定。リチャージャブルで何度
も繰り返し利用できるプリペイドカードと

なっている。

さらにソニーグループ共通の顧客 ID であ
る「My Sony ID」にも対応。My Sony Card
の会員は「My Sony ID」へ登録することで、
この ID とパスワードを使っても My Sony
Card 会員専用のホームページにログインで
きるようになる。

会員の募集は 2002 年 4 月 1 日より。なお、
「パソリ」は特別販売価格 ¥1,000 で会員向け
に入会時、および入会後に会員ホームペー
ジで販売される。

(3/18)

NTT ドコモ、第 4 世代携帯電話の実験装置の開発を開始

NTT ドコモは、下り最大 100Mbps 以上、
上り最大 20Mbps 以上の高速パケットデー
タ通信を実現するため、第 4 世代移動通信シ
ステムの無線アクセス実験装置の試作を開始し
たと発表した。

この装置は 2010 年を目途に実用化が期待
されている第 4 世代移動通信サービスの核と
なるもので、ハイビジョン並みの高品質な動
画像などのやりとりも可能となる。

下り最大 100Mbps という高速パケットデ
ータ通信を実現するためには、100MHz の広
帯域の周波数帯域が必要になるが、このよう
な広帯域化は多数のマルチパス発生による相
互干渉の増大を招くことになる。

この実験装置では、こうした相互干渉の影
響を低減するための方式として
「VSB-OFCDM (可変拡散率直交周波数・符
号分割多重)」と呼ばれる方式を採用し、実証
実験により技術の実用性についての検証を行
っていくとしている。

2002 年夏頃までに実験装置の仕様検討と
試作を終え納入、接続試験および実験に入る
予定となっている。

(3/18)

Real、PocketPC 用 RealOne Player を発表

米 RealNetworks は、PocketPC デバイスに最適化されたマルチメディアプレーヤーソフト「RealOne Player」を発表した。同社のサイトから無料でダウンロードできる。

PocketPC 版 RealOne Player は、動画・音声ファイルフォーマット「RealVideo」「RealAudio」を再生するための Pocket PC 向けソフトウェア。

802.11b (Wi-Fi) GPRS、HSCSD、CSD、CDPD、1XRTT など無線データ通信をサポートしており、リアルタイムのストリーミング再生が可能となっている。また、RealAudio と RealVideo 形式のファイルをダウンロードしローカル環境で再生することもできる。

動作が確認されている機種は、Casio Cassiopeia E-200 および上位機種、Compaq iPAQ Pocket PC H3600 シリーズと上位機種、HP Jornada 565 および上位機種、NEC MobilePro P300、Toshiba e570。このうち、Compaq の iPAQ Pocket PC H3800 シリーズにはプリインストールされて販売される。

なお、PC に保存したオーディオやビデオのコンテンツを iPAQ Pocket PC H3800 用に変換する、PC 用 RealOne Player 向けプラグインを 2002 年 3 月末までに提供する予定としている。

(3/18)

国土交通省、共同住宅におけるネット接続の標準化を策定

国土交通省は、新築共同住宅の情報化に際しての基本的な考え方を「インターネットアクセスの円滑化に向けた新築共同住宅情報化標準」として策定、都道府県、政令市、都市基盤整備公団、住宅金融公庫、その他関連団体等あてに本標準の策定について通知したと発表した。

この標準は、インターネットによる新築共同住宅の情報化に際しての基本的な考え方を示すことにより、共同住宅における高速・超高速インターネットアクセスの円滑化を図ることを目的とし、「共同住宅の特性を踏まえた

対応」「技術進歩への追従性」「計画・整備・管理を通じて一貫した考え方」「最終ユーザーの理解のための情報開示」の観点から、共同住宅の建設・供給に関わる関係者が情報化に際して共通に配慮すべき事項を提示したものの。

具体的には、電気通信設備の仕様、サポート体制、管理、情報提供について述べられている。

今後は、公団住宅等及び市街地住宅の整備に係る諸事業において本標準を活用していくとしている。

ただし、この標準は、新築共同住宅の情報化に際しての基本的な考え方を示すものであり、建築主、居住者等に対し、何らかの義務を負わせ、又は規制を課すものではない。

また、次年度においては既存集合住宅を含めたインターネットアクセスの円滑化に向けた共同住宅情報化標準として拡充するとともに、改修のための合意形成マニュアル等を作成していくとしている。

(3/16)

MIS、ホットスポットサービスの商用サービス開始を発表

モバイルインターネットサービス（略称：MIS）は、ブロードバンド無線インターネット接続サービス『Genuine（ジェニユイン）』の商用サービスを、2002 年 4 月 1 日（月）より開始すると発表した。

Genuine（ジェニユイン）は、無線 LAN 規格 IEEE802.11b（2.4GHz）に準拠しながら独自開発の強固な認証・セキュリティ技術を組み合わせることにより、屋内だけでなく屋外・移動中を問わず、公衆で安全に利用できる、常時接続・料金定額制のモバイルインターネット接続を実現した、ブロードバンド無線インターネット接続サービス。

サービス料金は初期費用として事務手数料が 2,000 円、月額使用料は 2,400 円（年間契約割引使用料 24,000 円）。

サービスエリアは、東京都千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区、文京区、世田谷

区、豊島区のそれぞれ一部からスタート。順次拡大予定となっている。

なお、先行加入予約として 2002 年 3 月 15 日から 3 月 31 日まで予約申し込みを受け付け、この間に申し込むと事務手数料が無料となる。また、同期間に年間契約割引使用を申し込んだユーザーにはルート社製 RZ2002 無線 LAN カード（MIS 限定バージョン）を特別価格 4,800 円で提供される。

(3/15)

NTT ドコモ、ホットスポットサービスの実験を開始

NTT ドコモは、「公衆無線 LAN モニターサービス」を実施することとし、参加モニターの募集を発表した。

このサービスは 2.4GHz の無線周波数帯を利用した IEEE802.11b に準拠したシステムを採用、通信速度は最大 11Mbps、ユーザ ID・パスワードによる認証によるユーザー認証を行う。

実施期間は、2002 年 4 月 15 日（月）～2002 年 6 月 30 日（日）。提供ホットスポットはカフェ・ド・クリエ新宿 5 丁目店、帝国ホテル、東京国際フォーラム、ホテルオークラ、幕張メッセの他、ドコモ関連施設としてモバイルマルチメディアアラボ新宿、モバイルマルチメディアアラボ丸の内、国際赤坂ビルが予定されている。また、5 月末には赤坂プリンスホテルが追加される予定。各ホットスポット内でサービス利用可能な場所の詳細は、ホームページに掲載される。

提供サービスは、高速インターネット接続サービスはもちろん、ホットスポット周辺の地域情報や地図情報等を提供する地域情報配信、各種映像コンテンツのストリーミング配信が予定されている。

モニターは募集人数 1000 人。2002 年 3 月 20 日～3 月 31 日の期間中に NTT ドコモホームページ上の公衆無線 LAN モニター応募画面より受け付ける。モニターの参加費は無料だが、必要となる PC や PDA、無線 LAN カードは自ら用意する必要がある。

(3/15)

三井物産、DSL プロバイダーのアカに投資

三井物産は、アカ・ネットワークスの第三者割当増資、総額約 120 億のうち、約 25 億円(約 14%の持ち株比率)の引受を決定し、NTT コミュニケーションズの約 45%に次ぐ第二位株主となると発表した。

三井物産では、1999 年 10 月に「DSL アクセス基盤協議会」を呼びかけ、2000 年 7 月には事業企画会社「ガネットコネクションズ企画」を通じて事業性の検証を行ったが、事業性がないという結論に立ち、一度は撤退していた。

今回の参入に関しては、2001 年半ばから急激な価格低下に支えられ、DSL の市場認知度は急速にすすみユーザー数は爆発的な拡大を続けている一方、価格下落傾向は終息を迎えつつあるとの認識から、DSL 事業への参入を決定したとしている。

三井物産では、衛星事業や携帯電話事業で培ったコンテンツプロバイダーとの緊密な事業関係と、ビジネスユーザーへの販売チャンネルを生かし、アカの DSL 事業の発展に貢献するとしている。

(3/14)

東芝、業界最高速のフラッシュメモリを発表

東芝は、携帯電話や携帯情報端末などに搭載する NOR 型フラッシュメモリの新製品として、業界最高速のランダムアクセスタイム 60 ナノ秒を実現した 128Mbit 「TC58FVM7T2AFT」、64Mbit 「TC58FVM6T2AFT」など 4 品種を商品化すると発表した。

両製品とも 0.16 μ m プロセス技術を採用、デュアル・オペレーション及びページモード機能を搭載している。アクセスタイム 60 ナノ秒/ページアクセス 20 ナノ秒と高速動作にも関わらず、読み出し時 55mA、ページ読み出し時 5mA、書込/消去時 15mA の低動作電流を実現し、携帯機器に最適となっている。

セット・トップ・ボックス、DVD などの

AV 機器に搭載する TSOP パッケージタイプに加え、携帯機器に搭載するスタックド MCP (マルチ・チップ・パッケージ) も用意される。サンプル出荷は 64Mbit 品が即日、128bit 品が 3 月中、量産出荷はそれぞれ 2002 年 3 月と 4 月開始予定。

サンプル価格はそれぞれ 2,500 円と 6,000 円になっている。

(3/13)

マイクロソフト、Windows XP 用 USB 2.0 ドライバを公開

マイクロソフトは、Windows XP 用 USB 2.0 のドライバが Windows Update サイトにおいてダウンロード可能になったと発表した。

スタートメニューの Windows Update を選択し、このドライバがサポートする USB 2.0 コントローラがパソコンに装着されている場合に、ドライバの更新の選択項目に表示される。

これまで Windows XP で USB 2.0 を利用するには、USB 2.0 インターフェースカードなどの各メーカーが提供するドライバを利用するしかなかった。

Windows XP からは WHQL が厳しくなっており、メーカー各社の提供するドライバでは注意を促すメッセージが出るが多かった。今回、マイクロソフトから提供されることでそうした問題はなくなり、初心者にも使いやすい環境が整ったことになる。

(3/13)

Cirrus Logic、携帯プレーヤー向けプロセッサを発表

米 Cirrus Logic は、MP3 のリアルタイムレコーディング機能を持った携帯プレーヤーを実現する ARM7 ベースの組込用プロセッサ「EP7312-90」を発表した。

EP7312-90 は、MP3 のリアルタイムエンコーディング、および MP3、WMA、AAC など主要な圧縮フォーマットの再生をサポートしている。また、Cirrus Logic 独自に開発し

たハードウェア ID を活用しインターネットを経由して認証を行うオンチップのセキュリティ機能 MaverickKey 技術(特許出願中)も搭載している。

これにより、PC がなくとも音楽 CD をリッピングし、再生しながら CD-R などに記録できるプレーヤーを作ることができるとしている。

クロックスピードは 90MHz。低消費電力のためバッテリー駆動のデバイスでも利用できる。応用製品としては、携帯型および据置型オーディオ機器、車載型ジュークボックスシステムなどを想定している。

既に出荷開始となっており、5 万個ロットでの単価は 12.25 米ドル。パッケージは 208 LQFP、256 PBGA、204 TFBGA が用意されている。

(3/13)

iRiver、DataPlay 対応プレーヤーを発表

米 iRiver と米 DataPlay は、DataPlay メディアに対応した次世代携帯プレーヤー「iDP-100」を発表した。

iDP-100 は、DataPlay の技術を採用しており、デジタルオーディオファイルの再生、記録、および外部記録装置の機能を備えている。

DataPlay は 25 セント硬貨サイズのパッケージに 500MB の記録容量を持つ新しい記録媒体。ユーザーはこのメディア一枚で 11 時間分の楽曲を保存することができる。

また、DataPlay では Universal Music Group、The EMI Group、BMG と楽曲記録済み DataPlay メディアの販売で戦略的パートナーシップを結んでいる。

iDP-100 は、MP3、WMA、AAC、QDX をサポートしており、それぞれ DRM に依るセキュアファイルとして再生が可能となっている。インターフェースは USB、バッファとして 8MB の SDRAM を搭載、ファームウェアのアップグレードにも対応する。

電源は充電電池もしくは AC アダプター。充

電池では 11 時間の連続再生が可能で、オプション充電電池との組み合わせでは 20 時間の連続再生が可能となっている。リモコンも付属する。

発売は 2002 年夏を予定しており、小売価格は 369 米ドル。

iRiver は韓国 Reigncom の米販売子会社。Reigncom は SONICblue の RioVolt シリーズの OEM 元として知られている。

(3/13)

有線ブロード、2 月末時点の進捗を発表

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2002 年 2 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、Web でサービスの申込みを行なった登録数が 70,504 件、工事が確定している契約者数が 13,045 件、回線が開通している取り付け数が 5,853 件となり、取り付け数が 5,000 件の大台を越えた。

1 月末時点での数字と比べると、登録数で約 5,400 件、契約者数で約 2,800 件、取り付け数で約 1,000 件の増加となっており、取り付け数の増加が著しく増えている。

なお、1 月には展開エリアが 48 から 51 に増え、ユーザーカバー数も約 85 万に増やしている。

(3/12)

エイベックス、音楽配信サービスを値下げ

エイベックスは、インターネット、KIOSK 端末、携帯電話 (PHS) で展開している音楽配信サービスの価格を 2001 年 4 月 1 日 (月) より順次値下げし、1 曲あたり 200 円で提供していくと発表した。

エイベックスでは、2000 年 4 月よりインターネットを利用した有料音楽配信サービス「@MUSIC」をスタート、同年 8 月には KIOSK 端末向けに、さらに 2001 年 1 月から

は PHS 向けにサービスを拡大してきた。

その料金体系はインターネット及び携帯電話向けには 1 曲あたり 350 円で、KIOSK 端末向けには 400 円と割高感があり、サービス開始より 2 年が経過するのを機に、新たな価格体系でサービスの充実を図るもの。

一方で、2002 年 3 月 13 日 (水) にリリースする BoA のマキシシングルを皮切りに、コピーコントロール機能を付加した CD を随時発売していくことを公表。今回の価格改定がユーザーの利便性を維持するための一環として実施するものとも述べている。

(3/1)

住友電気工業、45Mbps の電力線モデムを開発

住友電気工業は、東京電力と共同で電力線通信 PLC (Power Line Communication) 用として世界最高速のモデムの開発に成功したと発表した。

このモデムの通信速度は ADSL の 5~6 倍にあたる 45Mbps を達成。内部にスペイン DS2 社製の PLC チップを採用し、通信速度の高速化と装置の小型化を実現している。

住友電気工業とスペイン最大の電力会社 ENDESA は、2002 年 2 月初旬に行ったスペイン・サラゴサ市内の集合住宅でのこのモデムを使った実証試験に成功している。今後、ENDESA は、今夏より同市内で数千軒規模の試験サービスの開始を予定しており、このモデムを本格的に採用する見込み。

住友電気工業では、この試験サービスを通じてコスト的課題や信頼性を確認した後、ヨーロッパを中心に海外での販売を進めて行く予定としている。

また、モデムチップの高速化により、将来は 200Mbps の通信速度を達成する可能性もあるとしている。

なお、このモデムでは高周波帯域 (1.7M~30MHz) を使用しているため、日本国内では電波法の関係で現状は使用できない。適用周波数の拡大により高周波帯域まで利用可能となった場合には、国内でも積極的に販売していく

予定としている。

(3/12)

Liquid Audio、BMG と配信契約を締結

米 Liquid Audio は、Bertelsmann グループの音楽部門である BMG との間で、エンコーディング、ホスティング、DRM (Digital Rights Management) クリアリングハウスなどの機能を含むデジタルミュージックサービスを提供する契約を締結したと発表した。

この契約により、Liquid Audio の小売店および音楽サイトネットワークを介して、BMG の国際的に知られたアーティストの楽曲が著作権保護をかけられた形でダウンロードできるようになる。

BMG からは当初 3,500 曲を超える楽曲が提供される予定。Liquid Audio のサービスでは、試聴および Liquid Audio 形式もしくは Windows Media Audio 形式でのダウンロード、さらに携帯プレーヤーへの転送が可能となっている。

BMG は世界 42 ヶ国に 200 を超えるレーベルを傘下に持ち、Christina Aguilera、Jim Brickman、Dido、Aretha Franklin、Whitney Houston、David Gray、Alan Jackson、Etta James、Barry Manilow、Brad Paisley、Pink、Santana、the Strokes といったアーティストが所属している。

(3/12)

KDDI、第 3 世代携帯電話サービス開始を発表

KDDI および沖縄セルラーは、第 3 世代携帯電話 (CDMA2000 1x) による最大 144kbps の高速データ通信サービスを、2002 年 4 月 1 日 (月) より全国主要都市で一斉に開始すると発表した。

今回の新サービスにより、インターネット接続サービス「EZweb」や各種プロバイダ接続、LAN 接続が下り最大 144kbps、上り最大 64kbps の通信速度で利用可能となる。

サービスエリアは、東京・大阪・名古屋を

はじめすべての政令指定都市を含む 33 都道府県、477 市区町村の地域をカバー、その後速やかなエリア拡大により 2002 年末までに全国の人口カバー率 90%を実現する予定。

また、CDMA2000 対応携帯電話機は、最大 144kbps データ通信サービスの提供エリア外においても、音声通信や最大 64kbps データ通信など従来のサービスに対応し、エリアを気にすることなく全国で利用することができる。

サービス料金は、CDMA2000 対応携帯電話機で最大 144kbps の高速データ通信を利用するために、オプションサービス「高速パケットサービス」(月額 600 円)を契約することが必要。それ以外の付加サービスや料金プランがそのまま利用できる。

(3/11)

ソニー、プレーヤー機能搭載 PDA の新モデルを発表

ソニーは、「CLIE(クリエ)」PEG-NR70_A、PEG-NR70V_A を発売すると発表した。いずれもオープンプレイス。発売予定日は PEG-NR70_A が 2002 年 3 月 23 日、PEG-NR70V_A が同 4 月 13 日。

PEG-NR70_A、PEG-NR70V_A はマジックゲート対応メモリスティックスロットを備え、PC 上で音楽コンテンツを管理する付属ソフトウェア「SonicStage LE1.1」で PC に保存した音楽データを、ATRAC3 方式で「マジックゲート対応メモリスティック」に記録し、クリエ上の「AudioPlayer(ver.2.2)」で再生することができる。

各種設定や操作はクリエの画面上やジョグダイヤル、付属のヘッドホンリモコンで簡単に行うことができる。また、「Audio Player (ver.2.2)」では MP3 形式の音楽データにも対応。他社製の変換ソフトを使って「マジックゲート対応メモリスティック」や「メモリスティック」に音楽を記録し「クリエ」上で再生することができる。さらに「Photo Stand」使用時に音楽をバックグラウンド再生することもできる。

また新たに「MegaBass 機能」も備え、迫力ある重低音も再生可能となっている。

両機は、クリエで初めての液晶回転&折り畳み式デザイン(Wing デザイン)を採用。パソコンと同等のアルファベット配列のハードウェアキーボードを搭載しており、本体を開いてパソコン感覚で確実な文字入力が可能となっている。

本体を開いた状態で液晶ディスプレイを 180 度回転させ、折りたたんでコンパクトに使用することも可能。本体画面上に表示できるソフトウェアキーボードでも文字入力が行える。

65,536 色対応で 320×480 ドットの 3.8 インチ縦型ワイド高解像度 TFT カラー液晶ディスプレイを搭載し、表示画面はディスプレイの回転にあわせて自動的に上下反転する。

さらに「PEG-NR70V_A」には、レンズ部が前後に 300 度回転する回転式カメラを本体の回転軸部分に内蔵。液晶画面をファインダーにして撮影することができ、さまざまなアングルでの撮影ができる。

撮影は、キャプチャーボタンでアプリケーションを起動し、ワンタッチで簡単に静止画を撮影することが可能となっており、「モノトーン」「セピア」などの画像エフェクトも充実。クリエ専用のアプリケーションソフトウェアを使えば、撮影した静止画に手書きでカラフルな文字や絵をかき込み、画像加工もできる。

(3/11)

ニフティ、個人によるデジタルコンテンツ販売を支援

ニフティは、同社の運営するインターネットサービス「@nifty (アット・ニフティ)」において、個人がデジタルコンテンツをネット上で販売するための決済サービス「@pay (アット・ペイ)」を、2002 年 3 月 12 日から提供すると発表した。

@pay は、個人がオリジナルのデジタルコンテンツ(画像、テキスト、映像、Web 素材、ソフトウェア、ゲーム、音楽などの各種作品)を一般向けに有償で販売しようとする際に、代金の受渡し(=決済)を安全かつ簡単にこなす仕組みを提供する、個人間決済サービス。

販売者は@nifty 会員であること、国内の金融機関(郵便局は除く)の口座を保持していることが条件となる。当然、自分のホームページを開いていることも条件となるが、@nifty 内のホームページ開設サービス(@homepage)以外のホームページでも構わない。

初期費用は不要、販売者登録料として月額 200 円、販売手数料として売上金額の 15%が必要となる。販売価格は、100 円から 10,000 円まで 1 円単位で設定が可能。

登録手続き完了後は、表示された「購入」ボタンの HTML ソースを自分のホームページに貼りつければ、すぐにコンテンツ販売を始めることができる。また、販売するコンテンツをニフティのホストで預かる「ライブラリオプション」も 5MB 当たり月額 200 円で用意されている。

購入者は@nifty 会員(Combo 会員含む)のうち、JCB、VISA、NICOS、セゾン、DC、OMC、UFJ(ミリオン)、CF(JCB/VISA/MasterCard 提携のみ)バンクカード、ライフ、国内信販、MasterCard、アット・ニフティカードで利用料金を支払っている人に限定される。

購入画面で、@nifty ID(または Combo ID)とログインパスワードを入力するだけで決済手続きは完了。代金の支払いは月々の@nifty 利用料金とあわせて請求される。

また、購入者の個人情報は非開示となっており、購入者の氏名、ID、カード番号等の個人情報は販売者に知られることなく購入手続きが完了する。

なお、オープニングキャンペーンとして「販売者登録料」および「ライブラリ利用料」は 2002 年 4 月末日まで「無料」となっている。

(3/11)

松下、気分にあった曲を選んでくれる選曲技術を発表

松下電器産業は、人が曲を聴いたときに受ける感性イメージを自動的に推定し、フィードバックにジャストフィットした選曲を瞬時に

行うことができる音楽選曲インタフェース技術“ミュージックソムリエ”を開発したと発表した。

この技術は、感性イメージに関連する音楽的特徴量を音楽信号から精度良く抽出する技術と、音楽的特徴量と感性イメージとを対応づける統計解析技術から成り立っている。

前者に関しては、感性イメージとの密接な関係がある<テンポ、ビート白色性、基本ビート、ビート強度 1、ビート強度 2、ビート強度比、平均音数、スペクトル変化度>を採用。これら 8 種類の音楽的特徴量は音楽ライブラリに曲を登録する際に瞬時に抽出することができる。

後者では、感性イメージとして「激しさ」「躍動感」「爽快さ」「素朴さ」「ソフトさ」の 5 種類を対象とし、それらを主観評価実験 (SD 法) からデータ化。音楽信号から抽出した音楽的特徴量とこれらの感性イメージデータとの関係を統計解析技術によって対応づけしている。

松下では、2002 年春以降この技術を業務用システムにおけるデジタルコンテンツ検索機能として使用。その後、民生用オーディオ機器等に展開する予定としている。

(3/11)

2 月末の DSL 加入者数は 200 万を突破

総務省から 2002 年 2 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 2,076,302 でこれは前月末の 16.2% 増。増加率は前月から 1.1% 減。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 830,018、他事業者経由の DSL 加入者が残りの 1,246,284 で、NTT 東西のシェアは 40.0% と 0.8% のマイナス。

地域別では NTT 東日本管轄エリアが他事業者経由も含めて 1,214,938 と、18.2% の伸び率を見せており、東西の地域格差は一段と開いていることになる。

(3/11)

EMD Magazine 第 16 号

発行 2002 年 3 月 25 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース